

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	都市ブランド創造局スポーツ部スポーツ振興課
評価対象期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	三萩野公園内施設 ・北九州市民球場 ・三萩野球場	施設類型	目的・機能
	所在地	小倉北区三萩野二丁目10番1号		
	設置目的	スポーツの普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に資する。		
利用料金制		<input type="checkbox"/> 非利用料金制 ・ <input type="checkbox"/> 一部利用料金制 ・ <input type="checkbox"/> 完全利用料金制 <input type="checkbox"/> インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/> 無		
指定管理者	名 称	北九州野球株式会社		
	所在地	小倉北区三萩野二丁目10番1号		
指定管理業務の内容		1 管理運営に関する業務 ・受付、使用許可に関する業務（利用調整、許可に係る業務） ・清掃、警備、建物等保守点検業務 2 その他管理運営業務 ・事業及び収支計画書、各種報告書の提出 ・関係機関との連絡調整 ・地域や類似施設との連携に関する業務 3 利用促進に関する業務 ・イベントや広報活動等による利用促進など 4 自主事業 ・市民のスポーツ振興に資する事業（スポーツ教室等）等の実施など		
指定期間		平成31年4月1日～令和7年3月31日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント		配点	評価 レベル	得点																												
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み		50		36																												
(1) 施設の設置目的の達成																																
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。																																
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。		35	3	21																												
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。																																
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。																																
<p>【評価の理由、要因・原因分析】</p> <p>北九州市民球場の利用については、天然芝グラウンドを有しており、養生期間の確保など一定の利用制限があること、また悪天候時には、施設の利用が中止になるなど外的要因に大きく左右される。</p> <p>また、本施設の利用者数については、興行的利用による観覧者数が多いことから、主催者側の影響を大きく受けている側面もある</p> <p>さらに、スポーツ施設全般においては、新型コロナウイルス感染症予防に伴う人数制限など大きく影響を受けた状況でもある。</p> <p>そのため、施設の設置目的の達成については、利用者数に加え、施設の利用日数やトップスポーツチームの振興（地域貢献）などの観点からも評価を行い、評価レベルを3とした。</p> <p>■【施設利用者数】（単位：人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用者数</th> <th>【参考】H30年度(更新前)</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要求水準</td> <td>138,225</td> <td>145,000</td> <td>145,000</td> <td>145,000</td> <td>145,000</td> <td>145,000</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>140,000</td> <td>145,000</td> <td>150,000</td> <td>150,000</td> <td>150,000</td> <td>150,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>140,000</td> <td>130,706</td> <td>30,728</td> <td>63,629</td> <td>125,530</td> <td>107,572</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ <input type="checkbox"/> . . . 評価対象年度</p> <p>○利用者数の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者数のR4→R5の減少（約18,000人）については、プロ野球公式試合の雨天中止によるもの。 全体的にスポーツ施設利用者数が減少する中、新型コロナウイルスの影響を受ける前に近い水準までに概ね回復している。 					利用者数	【参考】H30年度(更新前)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	要求水準	138,225	145,000	145,000	145,000	145,000	145,000	目標値	140,000	145,000	150,000	150,000	150,000	150,000	実績	140,000	130,706	30,728	63,629	125,530	107,572
利用者数	【参考】H30年度(更新前)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度																										
要求水準	138,225	145,000	145,000	145,000	145,000	145,000																										
目標値	140,000	145,000	150,000	150,000	150,000	150,000																										
実績	140,000	130,706	30,728	63,629	125,530	107,572																										

○施設利用日数（北九州市民球場）について

- ・新型コロナウイルスの影響により、一時利用日数が減少したものの、近年はコロナ前の水準と同等の利用が図られている。（令和元年：104日→令和5年：117日）

○トップスポーツチームの振興について

- ・北九州市は、地元をホームタウンとするトップスポーツチームの振興として、近年新たに、北九州下関フェニックス（硬式野球）やタカギ北九州ウォーターウェーブ（女子ソフトボール）の支援を行っている。
- ・主要な拠点となっている北九州市民球場での試合会場の確保について、利用調整時に協力し、地域貢献や新たな利用ニーズへの対応を積極的に行っている。

○自主事業の実施について

- ・北九州野球（株）の強みを生かし、福岡ソフトバンクホークスと連携して、ホークスOBによるホークス野球塾やベースボールクリニック等を継続的に実施し、北九州市における野球振興や青少年育成の一助となっている。

(2) 利用者の満足度			
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	15	5	15
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			

[評価の理由、要因・原因分析]

■施設利用者満足度 ※「とても良かった」「良かった」と回答した割合

満足度	【参考】H30年度(更新前)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
目標値	95.0%	95.0%	96.0%	96.0%	96.0%	96.0%
実績	95.8%	99.2%	87.6%	97.2%	90.1%	96.8%

■職員対応満足度 ※「とても良かった」「良かった」と回答した割合

満足度	【参考】H30年度(更新前)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
目標値	100.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%
実績	95.8%	97.9%	86.9%	90.7%	98.6%	94.4%

※ ・・・評価対象年度

- ① 施設利用、職員対応満足度について、コロナの影響を受けているR2～3を除いて概ね95%を超えており、利用者の満足度は高い。その他、施設利用者の満足度の低かったアンケート結果については、施設老朽化による不具合や駐車台数が少ないこと等施設管理者に責務のない要因のものであった。
- ② 受付や、観客が通るホールにアンケートを設置し、利用者の意見を積極的に取り入れ、利便性の向上及び利用促進に努めている。利用者からトイレの快適性やエアコンの効きが悪い等という意見があった際には、スポーツ振興課と対応を協議した

上で、トイレ用擬音装置導入やエアコンの更新を早急に行う等して、利用者の満足度向上に努めている。特に、記者席における Wi-Fi 設置については、マスコミ関係者から、ネットにおける試合配信が可能になったことや即座に情報交換ができるなど高く評価されている。

【利用者の要望に伴う近年での主な改善例】

(令和4年度)

- ・ダッグアウト部のゴムマット取替
- ・屋外トイレブース改修
- ・シャワー室給湯器取替

(令和5年度)

- ・3階記者席 Wi-Fi 設置
- ・記者席空調取替

② 様々なスポーツ団体から、北九州市民球場での試合会場確保のニーズがある中で、利用調整時において、施設利用ができるよう協力しており、地域貢献や新たな利用ニーズへの対応を積極的に行っている。

参考：市民球場での主な利用団体（試合数）

利用団体	ソフトバンクホークス	フェニックス	タカギ	高校野球	大学野球	社会人野球	少年野球	合計
R 4	2	5	10	101	13	25	16	172
R 5	2	13	12	81	9	37	41	195

③ プロ野球公式戦開催時は、施設周辺の道路の渋滞や近隣住民への騒音被害など、様々な苦情が増えることを想定しているが、施設管理者において近隣住民への丁寧な事前説明や交通管理者との協議を綿密に行っている。近隣住民等からの苦情に適切に対応し、快適な施設利用ができるように努めている。

④ 指定管理者が運営するホームページ内において、試合やイベント情報を公開しており、規模の大きな試合や大会開催時においては、施設看板への掲示や近隣店舗へのポスター掲示の依頼を行い、幅広く施設利用者や市民に対して、情報提供を行っている。

⑤ 天然芝グラウンドの維持管理について、利用者（NPB や日本高野連など）から高い評価を受けており、また市民球場で試合をしたいとの要望が多い。

また、夏に開催される大会では、施設として自主的に製氷機の設置、エアコンの効いた部屋の開放、球場正面にテントを設置して休憩所を開設する等して、施設利用者の安全性を高めるとともに、利用時に快適に過ごしてもらう工夫をしている点は、満足度の向上につながっていると考えられる。

2 効率性の向上等に関する取組み		30		20		
(1) 経費の低減等		20	3	12		
① 施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。						
② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。						
③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。						
[評価の理由、要因・原因分析]						
■【維持管理経費】(単位：千円)						
指定管理料	【参考】H30年度(更新前)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算	81,260	82,168	82,525	82,525	83,190	82,925
決算	83,335	82,420	77,170	82,363	88,049	92,644
うち光熱水費	【参考】H30年度(更新前)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算	14,347	13,442	13,565	13,565	13,565	13,965
決算	18,450	13,555	11,493	12,104	14,337	16,386
※ <input type="checkbox"/> ・・・評価対象年度						
備品、施設の補修・修繕、清掃等の中で、自社でできる業務は自社で行い、再委託業務経費を低減できるよう努めている。						
また、職員の節水意識向上の取組みによる水道料金の削減や利用者に影響しない範囲でこまめに消灯するなど光熱費の削減に努めた。						
(2) 収入の増加		10	4	8		
① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。						
[評価の理由、要因・原因分析]						
■【施設使用料収入】(単位：円)						
使用料収入	【参考】H30年度(更新前)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
北九州市民 球場等2ス ポーツ施設	6,268,357	7,094,621	2,968,810	6,162,939	8,710,908	9,119,144
※ <input type="checkbox"/> ・・・評価対象年度						
新型コロナウイルスの影響による収入減はあったものの、令和3年度以降は増加傾向であり、令和5年度には、コロナの影響前を超える水準となっている。						
(使用料収入：R元→R5で約2,000,000円増)						
誘致活動に精力的に取り組むことで、プロ野球公式戦(ソフトバンク)を安定して本市開催した。(コロナ禍の令和2年、3年を除く)令和4年度からは独立リーグのプロ野						

球チーム「福岡北九州フェニックス」や、日本女子ソフトボールのトップリーグ「JDリーグ」等、新たな興行試合を開催し、施設収入増に努めたことは非常に評価できる。
また、プロ野球だけでなく、自主事業のほか各種大会の誘致を積極的に行う等して平日の施設利用促進に努めたことも評価できる。(平日利用日数：R元→R5で19日増)

参考：平日利用日数の推移（年間）					
	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
北九州 市民球場	48日	34日	46日	49日	67日

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み	20		14
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況	10	4	8
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。			
② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。			
③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。			
【評価の理由、要因・原因分析】			
<p>一級土木施工管理技士・技術士・衛生管理者・排水設備工事責任技術者の免許を有した人材を採用する等、豊富な経験や知識を有する専任スタッフを配置し、適切な施設の維持管理に取り組んでいる。</p> <p>特に天然芝グラウンドの維持管理については、利用者からも高い評価を受けており、利用日数の増加に伴い、芝生の養生期間の制約を受ける中、高い技術を持ったスタッフにおいて、適切な維持管理に努めている。</p> <p>定期的に職員会議を実施し、その中で専門業者を呼んでの研修会（グラウンド維持に関する研修、防災訓練など）などを実施し、職員の資質向上に努めている。</p> <p>プロ野球開催日は周辺道路の車両や観客で周辺道路が混雑するため、シーズン前に地域住民との打ち合わせを行い、不便を軽減するとともにトラブル防止に努めている。</p>			
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	10	3	6
① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。			
② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。			
② 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。			
③ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
④ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
⑤ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。			
⑥ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			

【評価の理由、要因・原因分析】

会計報告、モニタリングにおいて不適切な点は見受けられなかった。

個人情報管理する社員に対しては、個人情報の取り扱いに留意するよう指導し、情報の管理においても徹底する管理体制づくりに努めている。

半年に一度、職員全員参加の避難訓練を実施し、安全対策に取り組んでいる。

熱中症対策として、製氷機による氷の作り置き、冷房設備完備の部屋を開放する等して、非常時に備えている。また、熱中症指数を1日3回計測し、場内に掲示したうえで熱中症喚起アナウンスを定期的に行うよう徹底している。

プロ野球興行にも対応した緊急マニュアルを整備し、職員に周知徹底したうえで事故や災害にも備えている。

【総合評価】

合計得点	70	評価ランク	B
【評価の理由】			
施設利用者数については、興行利用での観客者数の影響を受けるため、目標値に到達しなかったが、施設利用日数については、適切な維持管理がなされた結果、コロナ前のレベル以上の水準となっており、施設の設置目的は果たしている。			
また、利用者の利便性を高めるため、施設独自にアンケート調査を実施し、その意見に対して適宜対応を行い、利用者の満足度向上に努めている。			
さらに、北九州市民球場での試合会場確保のニーズが高まっている中、利用調整において様々なスポーツ団体に配慮し、施設利用ができるよう協力しており、地域貢献や新たな利用ニーズへの対応を積極的に行っている。			
誘致活動に精力的に取り組むことで、プロ野球公式戦（ソフトバンク）、また、独立リーグのプロ野球チーム「北九州下関フェニックス」、日本女子ソフトボールのトップリーグ「JDリーグ」の試合を開催する等、様々な利用団体のニーズに応えるべく市と協力して利用調整を行っており、施設収入増につながっている。			
福岡ソフトバンクホークスによる現役プロ野球選手を迎えての野球教室の開催や、元プロ野球選手によるホークス野球塾を定期的に行うことによって、プロ野球選手と直に触れ合える貴重な機会を提供し、野球技術を学ぶ機会を提供していることは高く評価できる。また、プロ野球開催等の際には、周辺道路の車両や観客で周辺道路が混雑することが想定される場合、地域住民に与える不便を可能な限り軽減するために、シーズン前に地域住民へ説明や協議を行い、利便性の向上に努めている点も評価できる。			
以上のことから、施設の設置目的の達成に関する取り組みや、利用者の満足につながる取り組み、管理者としての施設運営の取り組みも十分に行われており、総合評価の結果、やや優れていると認められる。			

【北九州市指定管理の評価に関する検討会議における意見】

適正に評価されている。

目標設定にあたっては、利用者数だけでなく、稼働率などほかの要素についても検討していただきたい。

【評価レベル】

評価 レベル	乗 率		評価レベルの考え方
5	100%	良 い	要求水準を大幅に上回り、特に優れた管理運営がなされている
4	80%		要求水準を上回り、優れた管理運営がなされている
3	60%	普 通	要求水準を満たしており、適正に管理運営がなされている
2	40%		要求水準を下回る管理運営がなされている
1	20%		要求水準を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

【総合評価】

- A：総合評価の結果、優れていると認められる
(合計得点が80点以上)
- B：総合評価の結果、やや優れていると認められる
(合計得点が70点以上80点未満)
- C：総合評価の結果、適正であると認められる
(合計得点が60点以上70点未満)
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる
(合計得点が50点以上60点未満)
- E：総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる
(合計得点が50点未満)